

トウエピラ



令和7年3月14日
札幌市立八条中学校
学校だより第6号

御卒業おめでとうございます

学校長 和泉 明一

まとまった降雪が多かった印象のこの冬も、うららかな日差しや、穏やかな風により、大地に積もった雪を急速に減らし、確実に春へと移り変わる今日、第69回卒業証書授与式を盛大に開催できますこと、卒業生と共に心から感謝し、厚く御礼申し上げます。

ただ今、209名の卒業生に卒業証書を手渡しました。緊張で硬い表情をしつつも、堂々とした声で返事をして、誇らしげに卒業証書を受け取る姿に接し、とても頼もしく、温かい気持ちになりました。今、皆さんの手元にある卒業証書は、3年間の中学校生活の証しであり、御家族や先生方の深い愛情が詰まっています。

保護者の皆様におかれましては、お子様の人生の中で心身共に大きく変化するこの3年間、御家庭でも語り尽くせぬ多くの御心配、御苦勞があったことと思います。今、お子様が健やかに、そして立派に成長し、壇上に立つ姿は、皆様のすべての無償の愛情をもって、ここまで育まれた賜物です。長い義務教育期間を終えられたこと、改めて労うとともに、お祝い申し上げます。そして、私達教職員も皆様とともに子育ての一翼を担えたことを心より誇りに思います。

さて、3年生の皆さん、改めまして、卒業おめでとうございます。

私は皆さんの入学式で、仲間と繋がり、自分の夢をしっかり捕まえ、握って離さない手と、目標に向かって、着実に前進するための足をもつ「**八条中の手足**」となってほしいと伝えました。2年生に進級した始業式には「**八条中の胴体**」として、逞しく安定感のある成長を望みました。いよいよ3年生に進級した今年は、開校70周年の記念の年、記憶に残る最上級生、まさに「**70周年の顔**」になることを願いました。

その時々皆さんの希望に満ちた表情、眼差しの強さ、決意をもって応えてくれそうな逞しさをいつも感じていました。卒業前、各学級でお話をしましたが、今年の学校祭、自然発生的に皆さんが後輩へ託した想いのこもった温かい激励。本当に感動しました。そして感謝しました。よくここまで成長してくれたと。

さて、皆さんがこれから歩む未来は、今の大人たちが誰も経験したことがない、「**予測不能で、変化が激しい超少子高齢化社会**」と言われています。このフレーズを聞く機会が、ここ数年、本当に多くなってきていますが、一方で、予測が確定的に可能な未来など存在が無いのも真実です。確かに、解決すべき多くの課題に直接対応できる人口も同時に減りますので、技術革新を上手に活用することがより重要となり、過去にとらわれない新たな概念への移行が必須になるはずです。また、AIには真似のできない、人間らしい柔軟な発想で、試行錯誤を繰り返し、仲間と知恵を出し合い、練り上げ、手を取り合って解決を模索するプロジェクト型の手法により、さらに高度な処理能力を備えたAIが開発されているという現実もあります。

そのような未来への旅立ちの時を迎えた皆さんに、私から最後のお勧めを紹介します。これは、今から十数年前に私自身が予測不可能な出来事に遭遇したときに目にして書き留めて以来、助けられ続けていると思っている方法です。それは、困難な状況に追い込まれそうなときに、「さあて…面白くなってきやがった」と心の中でニヤリと笑ってつぶやくというものです。

あとから知ったのですが、これはルパン三世の次元大介のセリフから引用されたものらしいです。

中学校を卒業していく、今だからこそ、言葉を大切にすること、言葉に助けられ勇気をもらい、言葉を伝えて人を元気付け、言葉で仲間が増え結束が固まることを、皆さんは理解していると思います。

やると決めたからにはやる、追い詰められた自分がどのように変化していくか、自分の新たな面を発見できるかもしれないチャンスを楽しむ、はじめての状況を前向きにとらえる…、このようなことが何度もやって来ます。

人に甘えず自分で自分に声をかけましょう、粘り強く頑張る自分に、あと一步前に進もう、もう少し我慢して、努力を積み重ねてみようとしている自分を応援してください。皆さんの人生は、まだまだ始まったばかり、これから幾つもの困難や節目を通り抜け、たくさん失敗し、何度も後悔をしながら、やがて人として大きく、そして、しなやかに成長していくことでしょう。本当に楽しみです。

結びとなりますが、保護者の皆様、本日は、お子様の御卒業、義務教育の修了、心よりおめでとうございます。これから始まる新たな人生の中で、お子様が心身ともに、ますます健やかに素敵に成長していきますようお祈り申し上げます。

この壇上からは皆さんの晴れやかな表情、輝く瞳が見えます。皆さんは「**八条中の傑作**」です。これまでの中学校生活はもちろん、昨日の総練習と今日の立ち振る舞いで、歌で、表情で、眼差しで、皆さんの立派な姿は、後輩たちに、確かに引き継がれます。皆さんがそうであったように、皆さんの姿を間近で見てきた後輩達も大丈夫です。

今日をもって、令和6年度「**チーム3年生**」を解散します。皆さんが一人一人の人生の中で、さらに仲間を増やし、新しい素敵なチームを作っていけるようお祈りし、教師生活最後の式辞といたします。





祝 辞

PTA 会長

本日、八条中学校を卒業される卒業生の皆様、保護者の皆様、ご卒業、誠におめでとうございます。

今日こうして、子ども達が無事中学3年間の学業をおさめ、この八条中学校で卒業を迎えることが出来たのも、日々子ども達のことを思い、熱心にご指導して頂きました校長先生をはじめ教職員の皆様、毎日の登下校を見守ってくれた地域の皆様や、保護者の皆様のおかげと、心より感謝申し上げます。

また、各卒業校の校長先生の皆さま、ご来賓の皆さま、本日はご臨席を賜り誠にありがとうございます。子供達の安心安全のために毎日ご尽力頂いておりますことをこの場をお借りいたしまして御礼申し上げます。

保護者の皆様には、15年間これほどまでに立派に育て上げられ、本日、義務教育修了という大切な節目を迎えられました事、心よりお慶び申し上げます。

さて、卒業生の皆さんへ保護者を代表してお話しをさせていただきます。

コロナ禍で様々な行事の制限やマスク着用の毎日が続く不安の中、皆さんはこの八条中学校に入学してきました。入学当初のまだ幼かった表情も、今は凛々しく大きく華やかに見えて、この3年間での成長を誇らしく思い、無事に中学校卒業をこうして仲間達と席を寄せ合い、共に皆で迎えられたことを大変嬉しく思っています。

コロナ禍の中始まった中学校生活でしたが、毎日登校し仲間と顔を合わせれば楽しく皆で盛り上がり、暗い世の中をも感じさせない位、明るく楽しく元気に過ごす姿に、私たちは励まされパワーをもらっていました。

辛いことも楽しい事も共に毎日皆で過ごしてきたと思います。その仲間達との毎日を過ごす日も、今日が最後となりますが、この八条中学校で一緒に過ごしてきた仲間は一生の宝となります。

それぞれの道に進んでも地元に戻れば仲間がいます。これからも共に励まし合い、助けを求められた時は一番の理解者として、一番の盛り上げ役として是非皆さんの明るいパワーで支えてあげてください。もちろん私たちもずっと近くで見守っています

皆さんが過ごしたこの3年間は、八条中学校にとっても大きな改革を遂げた3年間でもありました。著しい変化の中で、皆さんはこれからの時代を生きるために必要な貴重な経験をたくさん重ねられたのではないかと思います。次のステップはどんな世の中になるのか、親としては不安ですが、今の皆さんならきっとどんな環境におかれても適応出来ると思っています。

まだまだ時代の変化に周りが対応出来ていなく、沢山の疑問や矛盾を感じたり、悔しい思いをすることもあるかもしれません。しかし、今は得意なことを学べる環境、得意なことを生かせる世の中になり、時代の変化が起こりはじめています。中学校生活で学び、経験をした自分自身に自信を持って、変化に伴うさまざまな摩擦に負けずに、これからの人生を歩み続けてください。

私は、貴重な時代の変わり目を体験し経験している、頼もしい皆さんのつくる未来がすごく楽しみです。先生方も私たち保護者も新たな時代をつくり出す皆さんを応援しています。

皆さんの力強い未来と健康をお祈りして、私からの挨拶とさせていただきます。

ご卒業おめでとうございます！



在校生送辞

在校生代表

寒い冬もどこかに消えて、頬を撫でる春の温かい風を感じられる季節になりました。この佳き日に、晴れて八条中学校を卒業される３年生の皆さん、私達、在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

先輩方と共に流した部活での汗、一致団結して取り組んだ委員会、何気なく話しかけてくれた日常がかけがいのない思い出です。そんな当たり前だった日々が終わりを告げることを悲しく思います。

部活動でドロップの打ち方がわからないときがありました。そんなとき、「ひじを引きクリアと同じフォームで手前に落とすイメージ」と具体的にアドバイスしてくれたことで、できたのはもちろん、今でも忘れずに使っています。また、先輩方はいつも明るく笑顔にあふれていて、常に私達を引っ張ってくださっていました。試合のときに緊張している自分を先輩方は明るい笑顔で応援してくださいました。今でも感謝していますし、よい思い出です。

今年の秋に行われた学校祭。全学年が一丸となって行う行事でした。展示部門や装飾部門では、先輩方ひとり一人が、自分ができること積極的に取り組み行動する最高学年としての姿を、たくさん見せていただきました。ステージ部門や総務部門でも、準備を進めていくにあたって、同じ部門になった人たちとの繋がりを深めて、協力してくださった先輩を頼もしいと思いました。また、新しくできた合唱部門で歌う先輩方はたくましく、どこか優しく、心に響く合唱でした。ひとつの行事ではありますが、私達下級生のお手本となり、励みにもなっています。

行事でも、日常生活でも、先輩方は下級生の憧れであり、目指す目標の存在でした。しかし、先輩方もこれから新たな環境で悩んだり、困難にぶつかるかもしれません。それでも３年間で培ってきた努力する力、人を思う優しさで困難も乗り越えていけることを願っています。私たち、在校生も先輩方から学んだこと、教わったことを忘れず、憧れの先輩方をこえられるよう、後輩とのつながりを大切にして日々精進していきます。

最後になりましたが、先輩方の健康とご活躍を祈念して在校生代表の送辞とさせていただきます。





卒業生答辞

卒業生代表

木々の着飾る花の蕾から、いよいよ春の息吹を感じる季節となりました。

本日は、私たち卒業生のためにこの華やかな卒業式を挙行して下さった教職員の皆さまをはじめ、ご多忙の中ご臨席くださいましたご来賓の皆さまや保護者の皆さまへ、卒業生一同心より御礼申し上げます。

期待と不安を胸に踏み出した一步を、まるで昨日のように思います。入学したばかりの頃は、日々を過ごすことに精一杯でした。真新しい環境に戸惑いながらも、仲間たちと知らない世界を学ぶことの楽しさを知りました。

2年生に進級してからは、私たちも中学生らしさを表現できるようになっていました。何もかもに全力で取り組んで、仲間とともに笑い合う、これ以上ない充実した毎日でした。

最後に、3年生。慕ってくれる後輩たちに、支えられていたのは私たちの方でした。初々しい1年生の姿に過去の自分を重ねて、いつの間にか大人に近づいていた自分に気付きました。私たちは、この学び舎で過ごした3年の月日のなかで、幾つもの経験と思い出を育みました。

皆さんは、3年間の一番の思い出は何だったかと聞かれたら、何と答えますか。日常生活や、旅行的行事、部活動。他にもたくさんの思い出があるなかで、私は、真っ先に生徒会活動を思い浮かべました。私にとって、生徒会は中学校生活のすべてでした。何もかもが未経験でできていて、いつも手探りで、自分の限界を追い求めていく生徒会は、未熟な私にとっては、苦しいことばかりの活動でした。ただ、それでも一番の思い出として出てきてしまうのは、支えてくれた先生方や、苦しくても一緒に隣を走り続けてくれた大好きな仲間たちがいたからだと思います。皆さんも、きっと同じではないでしょうか。苦しかった日々のはずなのに、自分の3年間を彩る大切な記憶になっている。苦しきの中にある楽しさが、心に残っている。そんな毎日が、ひたすらにかけがえのないものであったと思います。

後輩の皆さん。2年間私たちを慕い、頼ってくれて、本当にありがとうございました。私たちが、これから八条中学校を支えていく皆さんの、追いかける背中となれていたら嬉しく思います。そして、2年生の皆さん。今日からの1年は、本当に刹那の時間です。仲間と笑い合う度に、思い出が募る度に、時間は加速していきます。だからこそ、最後の一年を、後悔のないように、大切に歩んでください。

3年生の仲間たち。いよいよ、私たちはこの学び舎を旅立ちます。慣れない制服を身にまとい、期待や夢に溢れていた3年前の自分たちを、皆さんは覚えていますか。あの時憧れていた自分に、なることはできましたか。これから私たちは、自分たちが望む未来へ向かって、それぞれの道を歩んでいきます。私たちが再び相見える確証は決してありませんが、七色の夢を叶えて、いつかまた会えることを楽しみにしています。

私たちがここまで成長することができたのは、今日までの3年間、私たちを支えて下さった在校生の皆さんや、強く励まして下さった先生方、そして、なによりも暖かく見守って下さった保護者の皆さまがいてこそのものでした。本当に、ありがとうございました。そして、私たちは今日、この学校を卒業します。3年間の苦楽を共にした仲間たちと離れることは心細くもありますが、この八条中学校で仲間たちと育んだ数多の思い出を胸に、これからも精一杯歩んでいきます。

最後になりますが、本日ご臨席いただいた皆さまへの感謝と共に、八条中学校のますますのご発展を祈念して、答辞といたします。

